



士別ロータリークラブ会報

創立1960・3・24 RI第2500地区

vol. 31 No.2379

■2011～2012年度RIテーマ：

こころの中を見つめよう、 博愛を広げるために

2011～2012年度RI会長 カルヤン・バネルジー



新日地域交流施設
「和が舎」

画/百瀬達夫

■2011～2012年度士別RCテーマ：

人と人を思いやる 心をもって前進しよう

■例会場/士別グランドホテル

■例会日/毎週月曜日 12:10～13:10

■事務所/士別グランドホテル TEL:(0165)23-1234

■会長/渡辺正一 ■副会長/藤吉敏博

■幹事/伊藤優市

今日のプログラム 第2461回例会 2012年3月26日(月)

■ 3月19日の記録 ■

- 司会 谷 温恵 副会場監督
- 斉唱 奉仕の理想
- 本日の出席 会員51名中 出席者37名 出席率72.55% 修正82.00%
- 本日の欠席 今井 裕、國森和磨、近藤峯世、鈴木 勉、佐藤和彦、武田 修、千葉繁夫、深尾幸夫、福島栄三、本山忠之、興水広志、黒田康敬、高山 稔、菊地 博
- メイクアップ
- ビジター
- ゲスト
- ニコニコBOX 山本 榮会員(全快祝)

累計271,000円

例 会 予 定

■4月の予定.....《ロータリー雑誌月間》

- 4月2日(月)/例会・理事会
- 4月9日(月)/例会
- 4月16日(月)/例会
- 4月23日(月)/夜間例会
- 4月30日(月)/休会(法定休日：昭和の日)

■5月の予定.....

- 5月7日(月)/例会、理事会
- 5月14日(月)/例会
- 5月21日(月)/例会
- 5月28日(月)/夜間例会

■会務報告……………渡辺正一会長

- 雪解けがだいぶ進んできたなあ～と思っていた矢先、今日の様な真冬日!!グリーンベルト、公園等の残雪はいつになったら消えるのか?。自然は人間の事を相手にせず春を遠ざけているかの様だ。3月は何かと気持が落ち着かない月である。又、この季節は出費も多いですね。

昨年12月20日から名寄市立病院に入院されていた山本 榮会員が、本日の例会に出席されておりますが、1週間程で退院の予定との事で、皆様と例会でお会い出来る事を楽しみにされております。後程、お礼の御挨拶があるそうです。又、3月13日は体調を崩されて旭川日赤病院へ入院されています興水会員のお見舞いに、幹事の伊藤会員、会員増強委員長の織戸会員、そして私の3人で行って参りました。短時間ではありましたが元気そうで一日も早い退院を…と願っております。

さて、景気減速の中、灯油が3月25日から1リットル98円前後の値上がり(旭川周辺)になります。時期的には暖かくなって来ますが、家計、その他生産者には大きな負担となるのは間違いありません。イラン情勢の原油高はそう長くは続かないとは思いますが、円安が続いている事が気になるところです。イランの原油輸出量は輸入対象の数量が少ない。サウジアラビア等の原油国に生産余力がある。ヨーロッパ経済が弱体化。不透明、中国も高成長が低下している事を考えるとどうなるのか不安である。皆さんも考えてみませんか?。

■幹事報告……………伊藤優市幹事

- 芽室ロータリークラブより50周年記念式典の案内が届いています。5月12日(土)登録料10,000円です。参加希望者は4月10日まで伊藤幹事にお申込み下さい。
- 日本赤十字北海道支部士別地区委員会委員に加藤博会員から次年度社会奉仕委員長 近井孝義会員に、また士別市社会福祉協議会評議委員に坂口芳一委員長から近井孝義次年度委員長に変更させて頂きました。
- 新旧クラブ協議会のご案内を本日、配布させて頂きました。ご出席のほど宜しくお願い致します。

■委員会報告

- プログラム委員会……………山本俊一委員長
本日の卓話は、近井会員から木のお話をして頂きます。林業についていろいろお話を伺いたいと思いますので、宜しくお願い致します。

■卓 話……………近井孝義会員

木材に関した事を少しお話させて頂きます。まず現在に至るまでの林業ですが、プリントの昔の林業ですが伐倒は斧、鋸を使用して作業をしていました。伐倒した材は、用途に応じた長さに切り分け丸太にします。この作業を玉切と言います。昔は、伐倒した場所で鋸を使って行っていました。

【人力による藪だし(やぶだし)】

玉切りされた丸太は、林内に散財しており山土場へ集められます。これを藪だし(やぶだし)と言います。傾斜が急な場所では、トビ、ガンタといった道具を使って、丸太を押ししたり転がしたりして「バチ」と呼ばれるソリに載せてその上に人が乗って舵を取り、山土場まで滑らせて運びました。トビ、ガンタを知らない人もいると思いますが、是非士別博物館に行ってお覧下さい。経験者に聞いたところかなり危険な作業で命がけの作業もあったようです。傾斜のゆるい場所では、丸太を何本か集めて馬に引かせて山土場まで運びました。

【バチバチによる陸送】

バチバチとは丸太の前と後ろにそりをつけることで、バチを2個付けるのでバチバチと言います。一頭の馬で約15石(4~5立方メートル)の材を運んだようです。

【貯木場】

丸太は山土場か街の貯木場へ運ばれ棧橋からそれぞれの丸太の種類、品等に分けておろしていきます。そこから最寄りの国鉄の駅土場まで森林軌道で運んでいました。士別軌道さんもその1つであります。

近年は、1本1本に札をつけて伐倒作業の前に立木調査を先行して行います。立木調査では、収穫する立木の種類、樹高、径級、品質を調べます。径級は、胸高直径と言っておよそ地面から130センチの場所で林尺という道具で計ります。品質は、木の皮をむきマサカリの頭で叩き、その音などで判断します。穴の開いている木と中が腐っている

木と健全な木では確実に音が違うので、その辺の見極めが求められます。

伐倒は、チェーンソーで切り倒します。伐倒した木の枝は、広葉樹などの場合チェーンソーで行われますが、針葉樹はプロセッサと呼ばれる高性能林業機械で行われます。伐倒し枝払いされた材は山土場に集められます。この作業が集材作業と言われます。昔とは違い木を短く切らずに長い状態でブルドーザー等で引っ張って集めます。山土場に集められた材はこの場所で丸切りされます。巻き立てされトラックに積み込まれて工場に運搬されます。

現在の最新作業システムでは、伐倒、枝払い、玉切りを1台の作業機で行うハーベスターと言う機械1台で行い、集材、巻き立てをフォワーダーで行う作業システムが導入されてきています。最少作業人数が2名なんて言う現場も出てきそうな勢いです。この様に作業が変わってきて考えられるのが、昔は鉱物資源をほとんど使用していなかったと言うことです。木は、二酸化炭素を固形化しているが、木を切り集材し枝を払って玉切りし巻き立てして運搬する。その行程全てに鉱物資源が使用されています。

そこで木は、どの位二酸化炭素を固形化しているのか？。植えてから50年のトドマツ(樹高20m直径20cm)1本が吸収する平均的なCO₂の量は、1年間に15.8kg、人一人が1年間に約293.6kgの二酸化炭素を排出しています。すなわち50年生のトドマツ19本~20本分くらいが必要とされています。僕や坂口さんあたりになると、おそらく25~30本くらい、渡辺会長なら15本くらい必要かと思います。体重によって二酸化炭素の排出量が違うようです。一人一人が二酸化炭素の排出量を減らすには、体重を落とすことと、締めくくり卓和とさせていただきます。

■ その他報告

松永光司会員

先日、異動で紋別に行きますとお話させていただきましたが、内示の変更がありまして、旭川東営業部(旭川市東光)に23日に異動することになりました。大変お世話になりました。

● 快気のお礼……………山本 榮会員

昨年の12月19日より長らく欠席致しまして、申し訳ありませんでした。又過分なるお見舞いを戴き有難うございました。まだ退院までは少しありますが、来週の月曜日には又出席出来ると思います。少し病気の事を話してみます。

私の病気は間質性肺炎(発生原因不明な突発性なもので、国が難病として研究調査の対象に指定した特定疾患と呼ばれている病気です)発病率は一般的に10万人に5人程度とされています。

呼吸された空気は気管支の末端の数ミクロンの肺胞の壁(間質)に炎症をおこす病気です。この肺炎の進出と肺全体が少し硬くなり、呼吸が少し硬くなり息が少し苦しくなりました。これが今回の入院です。少しは楽になったようですが、少し何かすると息苦しくなってきます。大事に体も使って少しでも長くロータリーと共に歩みたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。